

【 元気堂 】(第334号 2010.1.15)

今日は誕生日。還暦を迎えました。
 都心も久しぶりに、マイナス0.3度を記録しました。
 新鮮な大気に触れて、新たな気持ちにリフレッシュできました。
 今後とも、変わらぬご声援をお願い申し上げます。

日本付近は冬型の気圧配置となっています。

新島と伊豆諸島南部では、明日明け方にかけて強風となり、伊豆諸島と小笠原諸島では明日にかけて波やうねりが高くなるでしょう。強風や高波に注意して下さい。東京地方では火の取り扱いに注意して下さい。

今日は、冬型の気圧配置が続く見込みです。

関東甲信地方は、おおむね晴れますが、長野県北部や関東地方北部の山沿いは、雪又は、曇り時々雪でしょう。

明日も引き続き冬型の気圧配置となりますが、次第に緩んでくる見込みです。

関東甲信地方は晴れ時々曇りですが、長野県北部や関東地方北部の山沿いは、雪のち曇りでしょう。

【 土日のお天気 】

	16日 (Sat)		17日 (Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	*//◎	- 4/- 9	◎/ *	- 2/- 7
秋田	*	0/- 4	◎/ *	1/- 2
仙台	◎//○	2/- 3	○//◎	4/- 1
宇都宮	○	6/- 4	○	6/- 4
東京	○//◎	7/ 2	○	8/ 1
横浜	○	7/ 1	○	8/ 1
長野	*→○	1/- 4	◎	2/- 5
静岡	○	9/- 1	○	9/ 1
名古屋	○	8/- 1	○//◎	8/- 1
新潟	◎//*	3/- 1	◎/ *	4/- 1
金沢	◎/ *	4/- 1	◎/ *	6/- 1
大阪	○//◎	8/ 2	○	9/ 2
神戸	○//◎	7/ 3	○	9/ 2
広島	○//◎	9/ 1	○//◎	10/ 2
松江	◎	7/ 1	◎	8/ 1
高松	○//◎	8/ 2	○//◎	9/ 1
高知	○//◎	12/ 0	○//◎	12/ 1
福岡	◎	10/ 4	◎//○	10/ 5
鹿児島	◎→○	11/ 5	○//◎	12/ 5
那覇	○→◎	19/ 13	○//◎	19/ 14

(○:晴れ, ◎:くもり, ●:雨, *:雪→:のち, //:時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 [被災地支援官民チーム結成へ\(兵庫県\)](#) 」 2010年1月9日より編集

兵庫県は7日、災害発生直後に被災市町村に派遣する官民連携の支援チーム結成を検討していることを明らかにしました。

【 きっかけ 】

昨年8月に県西部を襲った台風9号の豪雨災害では、ボランティアの活動場所が偏るなどの混乱があった。市町は職員も少なく、対応しきれない場合もあり、県はこうした調整機能が必要と判断した。

【 チームの概要 】

1. メンバーを予め登録しておき、地震や洪水などの際、医療やごみ処理、道路復旧や生活支援など、必要な分野の専門家を派遣する。
2. 県によると、全国的にも珍しい取り組みで、来年度スタートの予定。
3. 事前に作っておけば、いざという時に直ぐ派遣できる(県災害対策課)。

【 チームのメンバー 】

1. 過去に災害復旧の経験のある県・市町村職員のほか、医療、建設関係などの民間団体、個人を事前に登録。
2. 研修も行い、被災自治体の要請に応じて数人を派遣する。
3. 現地災害対策本部で助言に当たるほか、現場の状況に応じて、ボランティアやごみ搬出のための業者、医師らと連絡を取り、必要な場所に赴いてもらう。

(農業新聞1月8日 より編集)

【 感想 】

1月17日は阪神淡路大震災の発生した日です。既に、ほぼ15年の月日が経過し災害の記憶も風化しつつある今、とても貴重な取り組みだと考えます。

昨夏の台風9号では、兵庫県内の町の防災職員が殉職されました。救助に向かう途中、車が浸水してお亡くなりになったことは、当該町の関係者と御家族のみならず、防災の教訓として決して忘れてはならないことと、思いを新たにいたします。

今回の官民連携の防災チームは、当社のある文京区でも取り組みを始めました。無理なく自分または自社の能力をわきまえ、できることから協力をしたいと考えているところです。

防災推進ソリューション)

災害への備え [「レスキューセット」](#)

【 e健康生活 】

「 [ロコミで広がる「いこま山の保育園」](#) 」

2010年1月8日の日記より

幼稚園なのに園舎を持たず、棚田や野山に通って農作業や遊びを楽しむ、「いこま山の幼稚園(奈良県生駒市)」が人気です。

【 [立ち上げの経緯と現状](#) 】

1. 自然の中で子供を育てたい、と元幼稚園教諭の紀村さん(45)が立ち上げた。
2. 園児の母親が、通園費の会計や園のブログの更新作業を分担するなど、共同で運営している。
3. 開園は週3、4回。午前9時から午後1時。
4. 毎週火、木、金陽日は生駒山の雑木林に、隔週で月曜日は、同市の棚田に出かけるカリキュラム。
5. 弁当を食べる雑木林を目的地に散策し、園児は、斜面を登ったり、丸太ころがしや沢ガニを取る遊びを楽しむ。
6. 棚田では地元のボランティア団体の協力で、米や野菜の農作業を手伝うプログラムを用意。

【 [子供に変化が...](#) 】

同園に通い始めたことで、子供の様子に変化したという声が多い。

1. ここに来てから、ご飯をたくさん食べ、ぐっすり眠るようになったし、消極的だった公園の遊び方も活発になったと驚く(45歳の母親)。
2. 人に分け与えることを覚えた。
3. 運動能力が上がった。

【 [紀村さんの話](#) 】

1. 野山で育てる意義について
こちらから教えるのではなく、肌で感じる体験が子供の成長に必要。
2. 棚田での活動をカリキュラムに入れたのは
食べ物が育つ過程を見せたり、年配者と触れ合う機会を持たせたりするのが狙い。
3. 将来は毎日運営し、小学校就学前まで預かれるようにしたい。

([農業新聞1月8日](#) より編集)

【 感想 】

素晴らしい。子どもは風の子と言われますが、そのことがまざまざと目に浮かんできます。色々と課題はあると思いますが、園児の母親がブログを担当するなど、母親も生き生きとしているのではないのでしょうか？

現代は、隣近所のお付き合いが空疎になり、その影響なのか、子供たちが公園などで事件や事故に巻き込まれることが増えてきました。そのような社会の暗部を補うに余りある、さわやかな話題ですね。

子供頃に、雑木林などでお昼をいただけるという経験は、その時以上に、成長した後に良い影響をもたらすと思います。自然はすべて真実を見せ、五感を鍛えるには最良の環境です。棚田での農作業も組み込まれているというのには、正直驚きました。

先生のおっしゃる通り、生産者の大人との触れ合いには最高の舞台ですね。新しい、教育の在り方だと感心しました。是非とも、背伸びしないで長く続いてほしいと思います。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気！ *****

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に 「馬場コンディション情報」

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「ミスター防災」

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー&ビューティ」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
